

DYMO[®]

LabelManager[®] 280

ダウンロード

著作権

© 2021 Newell Rubbermaid Europe, LLC. All rights reserved. 改訂 3/21

Newell Rubbermaid Europe, LLC. より書面での承諾を事前に得ずに、本書およびソフトウェアをどのような形態に複製し、どのような方法で配布することも、外国語に翻訳することも禁止します。

商標

DYMO および LabelManager は、米国およびその他の国における登録商標です。その他のすべての商標は、該当する各社が所有しています。

FCC 宣言

注意：該当する法令に準拠する義務のある当事者が明示的に承諾していない変更または修正を行うと、この機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があるので注意してください。

注：本機器を検証した結果、FCC 規則の第 15 条に準拠しており、クラス B デジタルデバイスの制限に適合することが確認されています。これらの制限は、宅内に設置した際に受ける有害な干渉をから適切に保護することを目的としています。本機器は高周波エネルギーを発生させ、使用し、放射することがあるため、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の環境などに設置した場合に干渉が発生しないとは限りません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を現に引き起こしている場合（機器の電源を入れたり切ったりすれば判別できます）、干渉を防止するため以下の対処方法を 1 つ以上試してみることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または位置を調整する。
- 当該機器を受信機器から離れた場所に設置する。
- 当該機器を、受信機器を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続する。
- 販売店または無線機器やテレビの取り付けに精通した技術者に問い合わせる。

目次

DYMO ラベルメーカーについて	5
製品登録	5
はじめに	5
電源を入れる	5
電池のセット	5
電池の再充電	5
電池の取り出し	5
テープ カセットのセット	6
ラベルメーカーをはじめて使うときは	6
本機について	6
電源	6
液晶ディスプレイ	7
ナビゲーションキー	7
キャンセル	7
バックスペース	7
大文字／小文字モード	7
新しいラベル／消去	7
文字サイズ	7
書式キー	7
縦書き文字	7
メニュー	7
ラベルの書式設定	7
フォントの種類の変更	7
文字サイズの変更	8
文字装飾の変更	8
枠線の追加	8
鏡文字の使用	8
縦書きラベルの作成	8
固定長ラベルの作成	9
文字の配置	9
2 行ラベルの作成	9
クリップアート、記号、特殊文字の使用	9
記号の追加	9
クリップアートの追加	10
アクセント付きの文字の追加	10
日付と時刻の挿入	10
自動付番の使用	11
自動付番の削除	11
設定の変更	11
言語の変更	11
テープ幅の設定	11
長さの単位の設定	11
印刷オプション	11
ラベルレイアウトのプレビュー	11
複数のラベルの印刷	11
本機のメモリの使用	11
ラベルの保存	11
保存したラベルを開く	12
保存した文字の挿入	12
本機のクリーニング	12
コンピューターで本機を使用	13
デスクトップソフトウェアのインストール	13
本機をコンピューターに接続する	13
トラブルシューティング	14
環境情報	15
リチウムイオン充電電池の取り扱いに関する注意	17

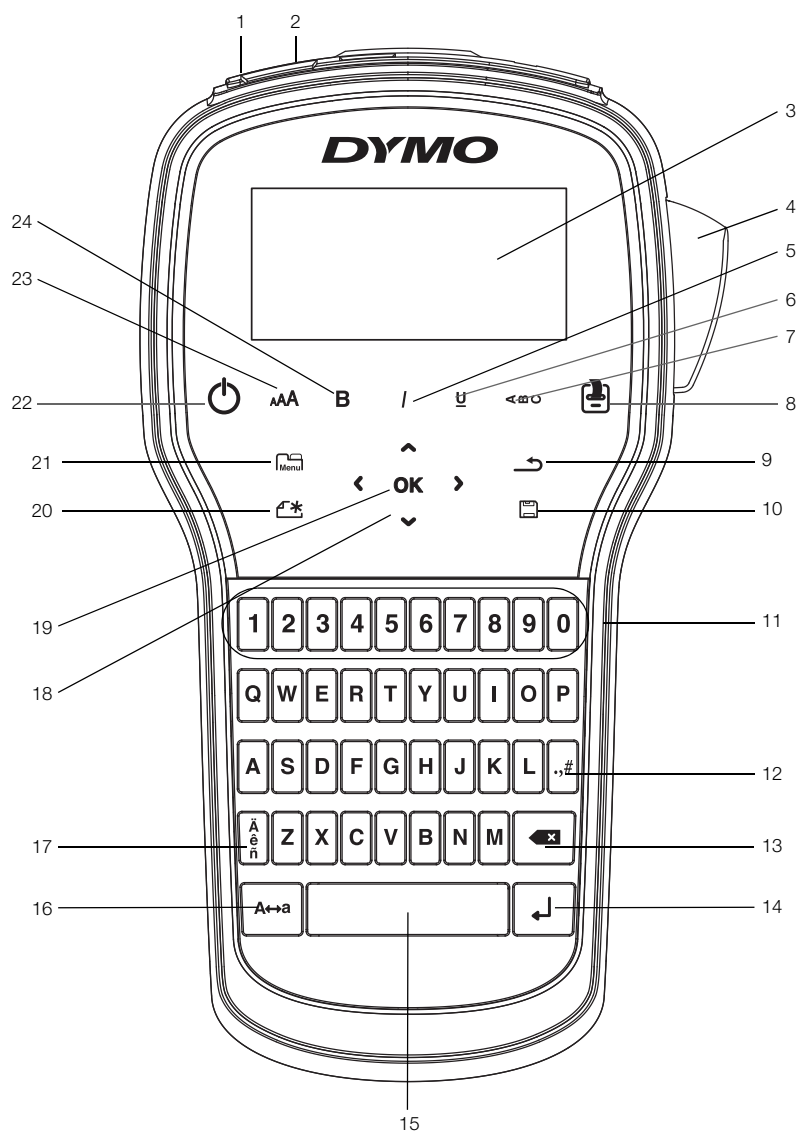


図 1 ラベルマネージャー 280

- | | | |
|------------|------------|---------------|
| 1 USB ポート | 9 戻る | 17 アクセント付きの文字 |
| 2 電源ポート | 10 保存／開く | 18 移動 |
| 3 液晶ディスプレイ | 11 数値キー | 19 OK |
| 4 カッター | 12 記号 | 20 新しいラベル／消去 |
| 5 斜体 | 13 バックスペース | 21 メニュー |
| 6 下線 | 14 リターン | 22 オン／オフ |
| 7 縦書き文字 | 15 スペース バー | 23 文字サイズ |
| 8 印刷／コピー | 16 大文字／小文字 | 24 太字 |

DYMO ラベルメーカーについて

DYMO® ラベルマネージャー® 280 を利用すると、さまざまなバリエーションの高品質な粘着ラベルを作成することができます。フォント、文字サイズ、文字装飾をいろいろ変えてラベルを印刷することができます。DYMO D1 テープの幅は、6 mm、9 mm、12 mm の中からお選びいただけます。また、さまざまな色のテープがございます。

ラベルメーカーのラベルと付属品の入手方法については、www.dymo.com をご覧ください。

製品登録

www.dymo.com/register でラベルメーカーのオンライン登録ができます。登録手続きにはシリアル番号が必要です。シリアル番号は、テープカセットのカバーの内側に記載されています。

本機を登録すると、次のようなメリットがあります。

- 保証期間をさらに 1 年延長
- ソフトウェアアップグレードをメールで通知
- 特別セールや新製品のご案内

はじめに

このセクションの手順に従って、最初のラベルを印刷してください。

電源を入れる

本機はリチウムイオン (Li-ion) 充電電池を使用しています。2 分以上使用しないと、節電のために自動的に電源が切れます。

 本機を長時間使用しない場合は、電池を取り出してください。

電池のセット

本機に付属の電池はフル充電していません。最適な状態で使用できるように、できるだけ早くバッテリーをフル充電してください。

 リチウムイオン電池を使用する前に、必ず充電アダプターをコンセントから抜いてください。

電池をセットするには

- 1 本体を裏返し、電池カバーのツメを矢印の方向に押し外します。図 2 を参照してください。

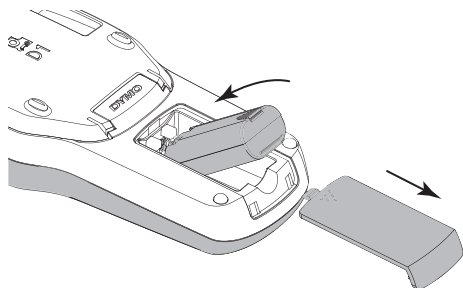


図 2

- 2 電池を入れます。
- 3 カバーを元に戻して閉めます。

 17 ページに記載した「リチウムイオン電池の取り扱いに関する注意」を熟読してください。

電池の再充電

電池の充電アダプターは本機に付属しています。電池の充電時間は約 3 時間ですが、10 分ほど充電すると、ラベルを印刷することができます。

 充電アダプターは電池の再充電以外には使用しないでください。本機の電源として使用できませんのでご注意ください。

 本機に付属の充電アダプター以外は使用しないでください。

電池を再充電する

- 1 充電アダプターを本機の上にある電源コネクタに差し込みます。
- 2 充電アダプターのプラグの方をコンセントに差し込みます。図 3 を参照してください。

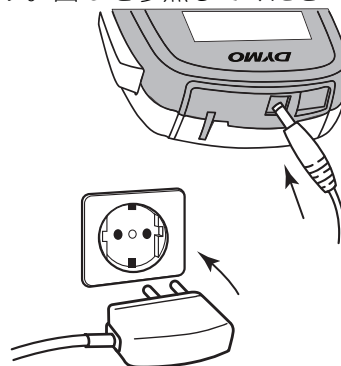


図 3

 17 ページに記載した「リチウムイオン電池の取り扱いに関する注意」を熟読してください。

電池の取り出し

本機を長時間使用しない場合は、電池を取り出してください。

 リチウムイオン電池を使用する前に、必ず充電アダプターをコンセントから抜いてください。

電池を取り出す

- 1 充電アダプターをコンセントから抜きます。
- 2 本体を裏返し、電池カバーのツメを矢印の方向に押し外します。図 2 を参照してください。
- 3 電池を取り出します。

 17 ページに記載した「リチウムイオン電池の取り扱いに関する注意」を熟読してください。

テープ カセットのセット

本機にはスターター用のテープが付属しています。DYMOD1 テープの幅は、6 mm、9 mm、12 mm の中からお選びいただけます。テープの追加購入については、www.dymo.com をご覧ください。

 **注意：**テープカッターの刃は非常に鋭くなっています。テープカセットを取り付けているときは、カッターの刃が体（指やその他の部分）に触れないようにし、テープカッターのボタンは押さないでください。

テープ カセットをセットする

- 1 本体を裏返し、テープカセットのカバーを開きます。図 4 を参照してください。

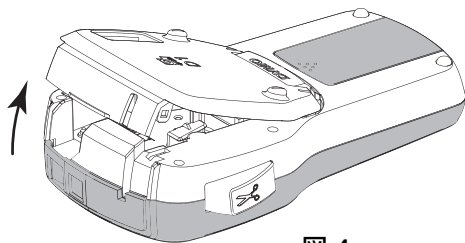


図 4

- 2 テープとリボンにたるみが無く、テープがラベル出口を通っていることを確認します。図 5 を参照してください。

リボンがたるんでいたら、スプールをカセット表面に表示されている矢印方向に回します。

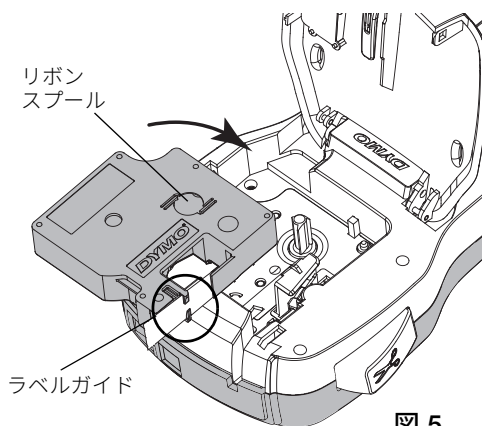


図 5

- 3 カチッと音がするまでカセットをしっかり押し込みます。図 6 を参照してください。

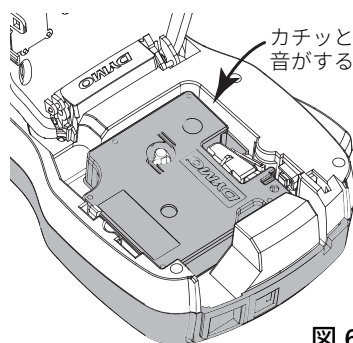


図 6

- 4 カバーを閉じます。

ラベルメーカーをはじめて使うときは

電源を入れると、言語、テープ幅、長さの単位を設定する表示が出ます。設定値は変更するまで変わりません。

設定を変更するには、 を押してから  を選択します。

本機を設定する

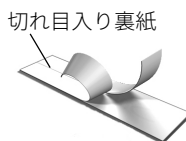
- 1  を押して電源を入れます。
- 2 言語を選択し、**OK** を押します。
- 3 mm を選択し、**OK** を押します。
- 4 本機にセットしているテープの幅を選択して、**OK** を押します。

 テープカセットを本機に取り付けるたびに、テープ幅を設定するよう求める指示が表示されます。これによって、現在使用しているラベルのサイズがわかります。

これでラベルを印刷する準備ができました。

ラベルを印刷する

- 1 キーボードを使用して文字を入力し、簡単なラベルを作成します。
- 2  を押します。ラベルが印刷されます。
- 3 カッターボタンを押し、ラベルをカットします。
- 4 ラベルの裏紙をはがし、ラベルを貼り付けます。



正しく印刷できました！ 最初のラベルが印刷できました。ラベルの作成に使用できる機能の詳細については、この先をお読みください。

本機について

本機の機能およびファンクションキーの場所を確認しましょう。4 ページの図 1 を参照してください。次のセクションで、各機能について詳しく説明します。

電源

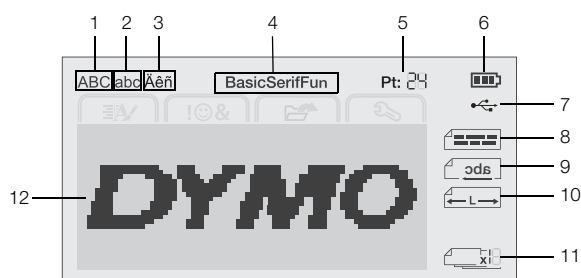
 ボタンで電源のオン／オフを切り替えます。2 分以上使用していないと、電源は自動的に切れます。

手動・自動を問わず電源が切れると、最後に使用したラベルの文字と文字装飾の設定を記憶して、次に電源を入れたときにその設定を表示します。

液晶ディスプレイ

DYMO の独自のグラフィックディスプレイに、追加した書式設定がほぼすべてすぐに表示されます。

液晶ディスプレイの上と横に沿った機能インジケータが黒くなっている場合は、いずれかの機能を選択していることを示します。



- | | |
|--------------|-------------|
| 1 大文字 | 7 USB 接続の有無 |
| 2 小文字 | 8 文字の配置 |
| 3 アクセント付きの文字 | 9 鏡文字 |
| 4 フォント | 10 固定長ラベル |
| 5 文字サイズ | 11 自動付番 |
| 6 電池インジケータ | 12 編集エリア |

ナビゲーションキー

＜、＞、Λ、V ナビゲーションキーを使用して、メニュー間を移動することができます。次に、OK を押して選択します。ナビゲーションキーを使用してラベルを確認して編集することもできます。

キャンセル

↩ を押して、選択せずにメニューを終了します。

バックスペース

⌫ を押して、カーソルの左の文字を削除します。

大文字／小文字モード

A↔a を押して、大文字／小文字を切り替えます。オンにすると、入力するすべての文字が大文字になります。初期設定ではオンになっています。オフにすると、表示される文字はすべて小文字になります。

新しいラベル／消去

⌫* キーを押すと、ラベルの文字を消去して書式を保持するか、文字と書式の両方を消去するかを選択できます。

文字サイズ

AAA を押して、ラベルの文字サイズを変更します。現在の文字サイズが液晶ディスプレイに表示されます。

書式キー

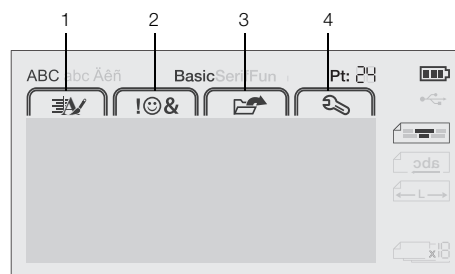
B、I、U を押して、それぞれ太字、斜体、下線のオン／オフを切り替えます。

縦書き文字

◀↻U を押して、縦書き文字のオン／オフを切り替えます。

メニュー

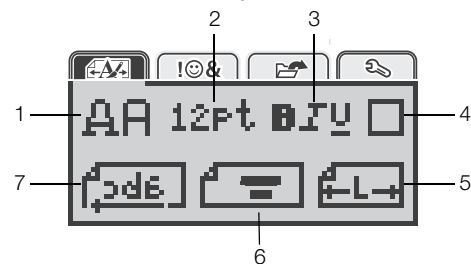
Menu を押すと、[書式]、[挿入]、[開く]、[設定] の各タブが表示されます。これらのタブのオプションを使用して、ラベルの外観を変更したり、保存した文字とラベルを開いたり、プリンターの設定を変更したりします。



- | | |
|-----------|-----------|
| 1 [書式] タブ | 3 [開く] タブ |
| 2 [挿入] タブ | 4 [設定] タブ |

ラベルの書式設定

複数の書式オプションから選択し、ラベルの見た目を向上させることができます。



- | | |
|-----------|----------|
| 1 フォントの種類 | 5 ラベルの長さ |
| 2 文字サイズ | 6 文字の配置 |
| 3 文字装飾 | 7 鏡文字 |
| 4 枠線 | |

フォントの種類の変更

ラベルには3種類のフォントを使用できます。



フォントの種類を変更する

- 1 Menu を押して を選択してから OK を押します。
- 2 を選択してから OK を押します。
- 3 Λ または V を押してフォントの種類を選択してから OK を押します。

文字サイズの変更

ラベルは 6 つの文字サイズの中から選択できます。



使用できる文字サイズは、選択したラベルによって異なります。

1 行ラベルの場合：

テープ幅	使用できる文字サイズ
6 mm	8、10、12 pt
9 mm	8、10、12、16、20 pt
12 mm	8、10、12、16、20、24 pt

2 行ラベルの場合：

テープ幅	使用できる文字サイズ
9 mm	8、10 pt
12 mm	8、10、12 pt

文字サイズは、ラベルのすべての文字に適用されます。

文字サイズを変更する

- 1 **Menu** を押して を選択してから **OK** を押します。
- 2 現在の文字サイズを選択してから **OK** を押します。
- 3 **<** または **>** を押して文字サイズを選択してから **OK** を押します。

💡 **AA** 文字サイズキーを使用して、文字サイズをすばやく変更することもできます。

文字装飾の変更

6 つの装飾から選択することができます。

	標準	AaBb
	太字	AaBb
	斜体	<i>AaBb</i>
	下線	<u>AaBb</u>
	縦書き	ㄣㄢㄣㄣ
	輪郭	AaBb
	影付き	AaBb

文字装飾を変更する

- 1 **Menu** を押して を選択してから **OK** を押します。
- 2 を選択してから **OK** を押します。
- 3 **^** または **V** を押して文字装飾を選択してから **OK** を押します。

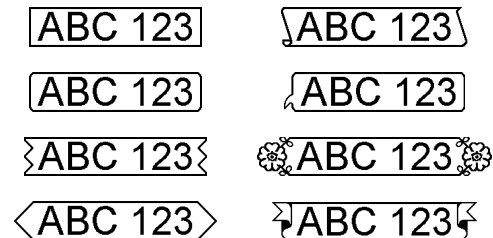
💡 **B**、**I**、または **U** 書式キーを使用して、装飾をすばやく適用することもできます。

文字装飾には組み合わせて使用できるものもあります。装飾を組み合わせるには、書式キーを使用します。

複数行のラベルで下線を使用する場合は、各行に下線が付きます。

枠線の追加

枠線の種類を追加することで、文字を強調表示することができます。



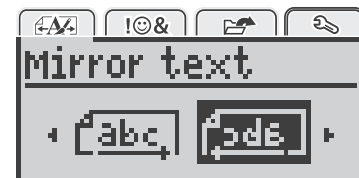
枠線を追加する

- 1 **Menu** を押して を選択してから **OK** を押します。
- 2 を選択してから **OK** を押します。
- 3 **^** または **V** を押して枠線の種類を選択してから **OK** を押します。

2 行のラベルで枠線を使用する場合は、両方の行が 1 つの枠線で囲まれます。

鏡文字の使用

ミラー書式を使用すると、鏡に映った文字を見るように、右から左に読む文字を印刷することができます。



鏡文字を適用する

- 1 **Menu** を押して を選択してから **OK** を押します。
- 2 を選択してから **OK** を押します。
- 3 **<** または **>** を押して を選択してから **OK** を押します。

縦書きラベルの作成

ラベルを縦方向に読めるよう、文字の方向を指定して印刷することができます。

縦書きラベルを作成する

- 1 を押します。
 - 2 文字を入力します。
 - 3 を押して印刷します。
- 縦書きラベルに下線は印刷されません。

固定長ラベルの作成

通常、ラベルの長さは文字の長さによって自動的に決まりますが、特定の用途の場合はラベルの長さを設定することができます。

固定長ラベルを選択すると、ラベル文字のサイズはラベルに収まるよう自動調整されます。文字が固定長ラベルに収まるように調整できない場合は、可変長ラベルを印刷するよう求めるメッセージが表示されます。固定長ラベルは、40 mm ～ 400 mm の長さを選択することができます。

固定長を設定する

- 1  を押して  を選択してから **OK** を押します。
- 2  を選択してから **OK** を押します。
- 3 **<** または **>** を押し、**固定**を選択します。



- 4 **▲** または **▼** を押してラベルの長さを選択するか、テンキーを使用してラベルの長さを入力します。
- 5 **OK** を押します。

固定長の設定は、可変長に戻すまで設定したままになります。

文字の配置

ラベルの文字を左揃えまたは右揃えにして印刷することができます。初期設定は中央揃えです。

文字の配置を設定できるのは固定長ラベルのみです。可変長ラベルは常に中央揃えになります。



文字の配置を変更する

- 1  を押して  を選択してから **OK** を押します。
- 2  を選択してから **OK** を押します。
- 3 **<** または **>** を押して文字の配置を選択してから **OK** を押します。

2行ラベルの作成

ラベルには2行まで印刷できます。6 mm のラベルに印刷できるのは1行です。

2行の縦書きラベルを印刷する場合、2行目は1行目の右に印刷されます。

2行ラベルを作成する

- 1 最初の行の文字を入力し、 を押します。
- 2 2行目の文字を入力します。
- 3  を押して印刷します。

クリップアート、記号、特殊文字の使用

クリップアートや記号、句読点、その他の特殊文字をラベルに追加できます。

記号の追加

本機では以下に示すようなさまざまな文字をご利用になれます。

?	!	_	-	:
'	"	,	.	;
,	;	<	/	\
&	@	#	%	‰
	(	)	{	}
[	]	°	•	*
+	-	x	÷	√
^	~	≈	=	≠
±	<	>	≤	≥
€	£	\$	¢	¥
©	®	©	™	§
1/3	2/3	1/8	5/8	7/8
1/4	1/2	3/4	3/8	
0	1	2	3	4
5	6	7	8	9
0	1	2	3	4
5	6	7	8	9
α	β	γ	δ	ε
ζ	η	θ	ι	κ
λ	μ	ν	ξ	ο
π	ρ	σ	τ	υ
φ	χ	ψ	ω	
Α	Β	Γ	Δ	Ε
Ζ	Η	Θ	Ι	Κ
Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
Π	Ρ	Σ	Τ	Υ
Φ	Χ	Ψ	Ω	

記号を挿入する

- 1  を押して  を選択してから **OK** を押します。
- 2 記号を選択してから **OK** を押します。
- 3 ナビゲーションキーを押して、記号を選択します。
- 4 **OK** を押して、記号をラベルに追加します。

💡 **.,#** キーを押すと、記号をすばやく追加できます。

クリップアートの追加

利用できるクリップアートは以下のとおりです。

クリップアートを挿入する

- 1 を押して を選択してから **OK** を押します。
- 2 クリップアートを選択してから **OK** を押します。
- 3 ナビゲーションキーを押して、画像を選択します。
- 4 **OK** を押して、画像をラベルに追加します。

アクセント付きの文字の追加

本機では、幅広い種類のラテン文字をご利用になれます。アクセント付きの文字を追加する方法は 2 種類あります。

- 、英字の順に押す。
- 英字を長押しする。

英字を押すと、その文字のすべてのバリエーションが表示されます。

たとえば、**a** を長押しすると、すべてのバリエーションの中から **a à â æ** などが表示されます。

アクセント付きの文字を追加する

- 1 英字を長押しします。
その文字のアクセント付きのバリエーションが表示されます。
- 2 **<** または **>** を押して目的の文字を選択してから **OK** を押します。

日付と時刻の挿入

ラベルに現在の日付と時刻を挿入することができます。日付と時刻の形式は、本機の設定で選択した形式によって異なります。

日付と時刻の形式を設定する

- 1 を押して を選択してから **OK** を押します。
- 2 を選択してから **OK** を押します。
- 3 表記を選択してから、**OK** を押します。
- 4 使用する日付と時刻の形式を選択し、**OK** を押します。

日付を設定する

- 1 を押して を選択してから **OK** を押します。
- 2 を選択してから **OK** を押します。
- 3 日付の設定を選択し、**OK** を押します。
- 4 ナビゲーションキーを使用し、現在の日、月、年を選択します。
- 5 **OK** を押してから を 2 度押すと、編集エリアに戻ります。

時刻を設定する

- 1 を押して を選択してから **OK** を押します。
- 2 を選択してから **OK** を押します。
- 3 時刻の設定を選択し、**OK** を押します。
- 4 ナビゲーションキーを使用し、現在の時間と分を選択します。
- 5 **OK** を押してから を 2 度押すと、編集エリアに戻ります。

日付と時刻を挿入する

- 1 を押して を選択してから **OK** を押します。
- 2 日付と時刻を選択し、**OK** を押します。
日付と時刻がラベルに挿入されます。

自動付番の使用

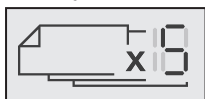
自動付番を利用すると、連続する1枚のラベルを最大で10枚一度に印刷することができます。

数字 (0, 1, 2...9)、大文字 (A, B, C...Z)、小文字 (a, b, c...z) などの自動付番をラベルに追加することができます。自動付番の前後に文字を追加することも可能です。

ラベルの自動付番を作成する

- 1  を押して  を選択してから **OK** を押します。
- 2 自動付番を選択し、**OK** を押します。
- 3 使用する自動付番を選択し、**OK** を押します。
- 4 ナビゲーションキーを使用して開始番号と終了番号を選択し、**OK** を押します。

自動付番がラベルに追加され、それがすべて液晶ディスプレイに表示されます。



自動付番の削除

自動付番は、1文字としてラベルに入力されます。

自動付番を削除する

- 1 カーソルをディスプレイの自動付番文字の末尾に置きます。
- 2  を押します。

設定の変更

本機には数種類のカスタマイズオプションが揃っています。表示言語と長さの単位を選択し、テープ幅を設定することができます。

言語の変更

本機の表示言語を変更すると、希望の言語で使用できるようになります。

言語を変更する

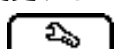
- 1  を押して  を選択し、**OK** を押します。
- 2 現在の言語を選択し、**OK** を押します。
- 3 **Λ** または **V** を押して希望の言語を選択し、**OK** を押します。

テープ幅の設定

テープカセットを本機に取り付けるたびに、テープ幅を設定するよう求める指示が表示されます。これによって、現在使用しているラベルのサイズがわかります。

ラベルのデザインに利用できる一部の機能は、テープ幅によって異なります。どのテープカセットを本機に取り付けていても、テープ幅の設定はいつでも変更することができます。

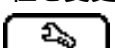
テープ幅の設定を変更する

- 1  を押して  を選択し、**OK** を押します。
- 2 現在のテープ幅を選択し、**OK** を押します。
- 3 **<** または **>** を押して目的のテープ幅を選択してから **OK** を押します。

長さの単位の設定

ヤード法（インチ）またはメートル法のいずれかを選択することができます。初期設定ではメートル法になっています。

初期設定の長さの単位を変更する

- 1  を押して  を選択し、**OK** を押します。
- 2  を選択してから **OK** を押します。

印刷オプション

ラベルレイアウトをプレビューするか、複数のコピーを印刷することができます。

ラベルレイアウトのプレビュー

印刷前にラベルのサイズとレイアウトをプレビューできます。

ラベルレイアウトをプレビューする

- ▶  を数秒間長押しします。
- ラベルの長さ・幅・レイアウトが表示されます。

複数のラベルの印刷

印刷できるラベルのコピー数は最大10枚です。

複数のラベルを印刷する

- 1  を数秒間長押しします。
- 2 **Λ** または **V** を押して印刷するコピー数を選択し、**OK** を押します。

印刷を終了したら、印刷コピー数は初期設定の1に戻ります。

本機のメモリの使用

本機には、最大9枚のよく使うラベルの文字を保存できる高性能のメモリ機能が搭載されています。保存したラベルを呼び出し、保存した文字を現在のラベルに挿入することもできます。

ラベルの保存

よく使うラベルは9枚まで保存できます。ラベルを保存する場合、文字と書式設定が保存されます。

現在のラベルを保存する

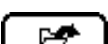
- 1  を押します。
最初に使用できるメモリの保存場所が表示されます。
- 2 ナビゲーションキーを使用し、場所を移動します。
新しいラベルはどの場所のメモリにも保存できます。
- 3 メモリの場所を選択し、**OK** を押します。

ラベルが保存され、ラベルに戻ります。

保存したラベルを開く

メモリに保存したラベルを簡単に開くことができます。

保存したラベルを開く

- 1 次のいずれかの操作を行います。
 -  を数秒間長押しする。
 -  を押して  を選択する。
最初にメモリを保存した場所が表示されます。
- 2 **Λ** または **V** を押してラベルを選択してから **OK** を押します。

選択したラベルが編集エリアに表示されます。

保存した文字の挿入

保存したラベルの文字を現在のラベルに挿入できます。挿入できるのは保存してある文字だけで、書式は挿入されません。

保存済みの文字を挿入する

- 1 ラベル内の文字を挿入する場所にカーソルを置きます。
- 2  を押して  を選択してから **OK** を押します。
- 3 **Λ** または **V** を押して**保存された文字**を選択してから **OK** を押します。
最初にメモリを保存した場所が表示されます。
- 4 **Λ** または **V** を押して挿入する文字を選択してから **OK** を押します。

文字が現在のラベルに挿入されます。

本機のクリーニング

本機は、長期間故障なく使用できるよう設計しているので、メンテナンスはほぼ必要ありません。

定期的にクリーニングをして、正常な動作が続くようにします。テープカセットの交換時は、カッターの刃を必ず掃除してください。

 **注意：**カッターの刃は非常に鋭いため、刃をクリーニングしているときは、カッターの刃に直接触れないようにしてください。

カッターの刃をクリーニングする

- 1 テープカセットを取り出します。
- 2 カッターのボタンを長押しすると、カッターの刃が見えてきます。図7を参照してください。

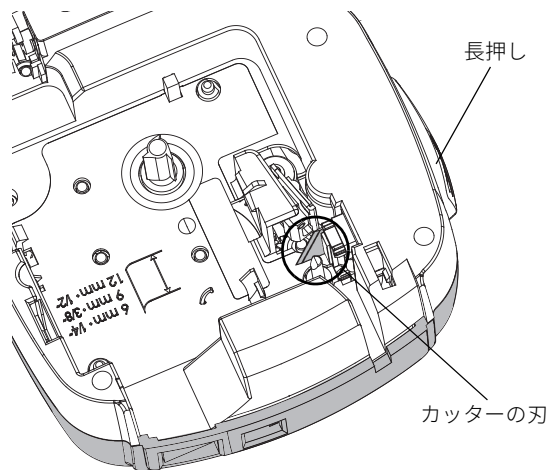


図7

- 3 綿棒とアルコールで刃の両サイドをクリーニングします。

印刷ヘッドをクリーニングする

- 1 テープカセットを取り出します。
- 2 カバー内側からクリーニングツールを取り出します。図8を参照してください。
クリーニングツールを持っていない場合は、DYMOカスタマーサービス (<http://support.dymo.com>) までお問い合わせください。
- 3 クリーニングツールのパッドで印刷ヘッド全体を丁寧に拭き取ります。図8を参照してください。

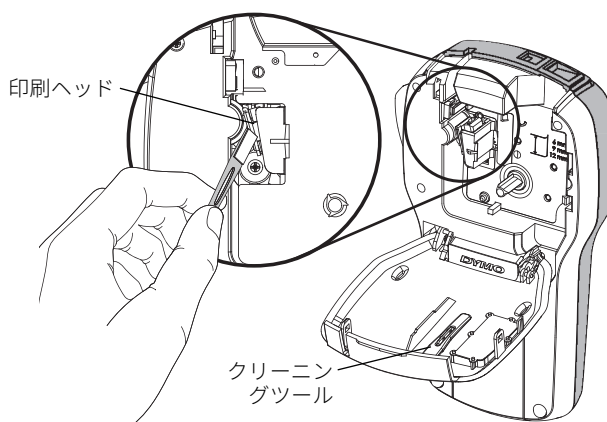


図8

コンピューターで本機を使用

ラベル メーカーは単独のラベル プリンターとして使用することも、最新版のデスクトップ ソフトウェアをインストールしてあるコンピューターから直接ラベルを印刷することもできます。

デスクトップソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストールが完了するまで、本機をコンピューターに接続しないでください。

ソフトウェアを Windows® パソコンにインストールする

- 1 開いている Microsoft® Office アプリケーションをすべて閉じます。
- 2 support.dymo.com から最新版のデスクトップラベル作成ソフトウェアをダウンロードします。
- 3 インストーラーのアイコンをダブルクリックします。

数秒後にインストール画面が表示されます。

- 4 **インストール**をクリックし、インストーラーの指示に従います。

ソフトウェアを Mac OS® システムにインストールする

- 1 support.dymo.com から最新版のデスクトップラベル作成ソフトウェアをダウンロードします。
- 2 インストーラーのアイコンをダブルクリックし、画面上の指示に従います。

本機をコンピューターに接続する

本機の上にある USB ポートを使用して本機とコンピューターを接続します。



ソフトウェアインストーラーからの指示が出るまで、本機をコンピューターに接続しないでください。



図 9

ラベル メーカーをコンピューターに接続する

- 1 USB ケーブルを本機の上にある USB ポートに差し込みます。図 9 を参照してください。
- 2 USB ケーブルのもう一方の端子をコンピューターの空いている USB ポートに差し込みます。
- 3  を押し、本機の電源を入れます。
- 4 複数の DYMO ラベルプリンターをインストールしている場合は、次の操作を行ってください。
 - a デスクトップソフトウェアの [印刷] エリアのプリンター画像をクリックします。
コンピューターにインストールされているすべてのラベルプリンターが表示されます。
 - b **ラベルマネージャー 280** を選択します。

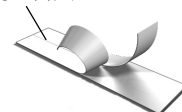
DYMO デスクトップソフトウェアからラベルを印刷する準備が完了しました。

トラブルシューティング

本機の使用中に問題が発生した場合は、以下の方法をご参考になしてください。

問題／エラーメッセージ	解決策
何も表示されない	■ 本機の電源が入っているか確認します。 ■ 充電アダプターを本機に取り付け、電池を充電します。「電池の再充電」を参照してください。
印刷の仕上がりが悪い	■ AC 充電器を本機に取り付け、電池を充電します。「電池の再充電」を参照してください。 ■ 印刷ヘッドをクリーニングします。「本機のクリーニング」を参照してください。 ■ テープカセットを正しく取り付けているか確認します。 ■ テープカセットを取り替えます。
自動付番がすでに挿入されている	■ 自動付番はラベルにすでに表示されているので、同じラベルに複数回追加できません。
電池の異常！ 電池を正しくセットしていないか、電池が破損しています。	■ 電池を正しくセットしているか確認します。「電池のセット」を参照してください。 ■ 電池を取り替えます。
n 分お待ちください。 電池を充電中です	■ 電池パックを充電してから本機を取り外します。「電池の再充電」を参照してください。
文字数が多すぎます！ バッファの最大文字数を超過しています。	■ バッファ文字の一部または全部を削除します。 ■ 文字サイズを縮小します。 ■ テープ幅に収まるように行を削除します。 ■ 幅の広いテープカセットを取り付けます。
ラベルが見つかりません。 テープカセットを取り付けてください。	■ カバーを開き、テープカセットを取り付けます。「テープ カセットのセット」を参照してください。
ラベルが詰まりました！ このためモーターが停止しました。	■ テープのカバーを開き、カセットを取り出します。 ■ 詰まったラベルを取り出し、詰まりを解消します。 ■ カッターの刃をクリーニングします。「本機のクリーニング」を参照してください。 ■ ラベルがラベルガイドをきちんと通っていて、ラベルとリボンにたるみがないことを確認します。「テープ カセットのセット」を参照してください。
印刷中 ...	■ 必要な操作はありません。印刷が終了すると、メッセージは消えます。
ラベルを可変長で印刷しますか？ ラベルの長さが固定長を超えています。	■ OK を押して、可変長ラベルを印刷します。 ■ バッファ文字の一部または全部を削除します。 ■ 文字サイズを縮小します。 ■ テープ幅に収まるように行を削除します。 ■ 幅の広いテープカセットを取り付けます。
選択したテープ幅に対して行が多すぎます	■ バッファ文字の一部または全部を削除します。 ■ 文字サイズを縮小します。 ■ テープ幅に収まるように行を削除します。 ■ 幅の広いテープカセットを取り付けます。 ■ 可変長ラベルに変更します。
ラベルの長さが固定長を超えています！	■ 一部の文字を削除します。 ■ 可変長を使用してラベルを印刷します。
電池を充電してください！	■ 充電アダプターを本機に取り付けて電池を充電します。「電池の再充電」を参照してください。 ■ 電池を正しくセットしているか確認します。「電池のセット」を参照してください。 ■ 電池を取り替えます。
ラベルの裏紙はどうやってはがせばいいですか？	DYMO ラベルには簡単にはがせる切れ目入り裏紙が貼り付けてあります。 1 ラベルの裏紙の切れ目を見つけます。 2 ラベルを縦方向にそっとつまみ、ラベルの印刷側に向けて曲げます。ラベルの裏紙が2つに分かれます。 3 裏紙をラベルからそっとはがします。

切れ目入りラベル



ご不明な点がある場合は、DYMO Web サイト (www.dymo.com) をご覧ください。

環境情報

ご購入になった製品の製造に使用した天然資源の回収と使用が必要になります。健康と環境に有害な物質を含んでいる場合があります。

それらの物質が自然界に飛散してしまうことを防ぎ、天然資源の使用を削減するため、適切なリサイクル方法を利用するようお願いしています。そのようなシステムを利用することで、使用しなくなった機器のほとんどの素材が正しい方法で再利用、リサイクルできるようになります。

バツ印の付いたキャスター付ゴミ箱マークがそのようなシステムのシンボルです。



回収、再利用、リサイクルシステムに関する詳細については、お住まいの自治体の相談窓口までお問い合わせください。

弊社製品の環境パフォーマンスに関する詳細については、DYMO までお問い合わせください。

リチウムイオン充電電池の取り扱いに関する注意

リチウムイオン充電電池の扱い方を間違えると、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。これが原因で、性能の低下や故障を引き起こしたり、充電電池に取り付けてある保護デバイスを損傷させることにもつながります。また、機器に損傷を与えたり、ユーザーが負傷したりするおそれがあります。以下の指示を必ず守ってください。

電池パックの充電中



危険

火災および爆発につながるリスクを軽減するための危険事項です。危険が避けられなかった場合は、重傷を負うまたは死にいたる可能性があります。

- 電池の取り扱い、充電、廃棄、交換の仕方が間違っていると爆発する危険があります。DYMO が推奨する
- 充電時は、専用充電器を使用し、指定した充電方法で充電すること。
- コンセントまたはシガーソケットの充電器に直接接続しないこと。
- 火のそばや（車内や直射日光の強いところなど）60℃を超える高温の場所に電池を保管しないこと。
- どのような状況でも電池をショートさせないこと。
- 燃えやすいものの近くで電池を絶対に充電しないこと。



警告

火災および爆発につながるリスクを軽減するための警告事項です。危険が避けられなかった場合は、重傷を負うあるいは死亡にいたるだけでなく、物的損害が生じる可能性もあります。

- 充電が指定時間内に完了しない場合は、電池の充電を停止すること。
- 充電中は電池から目を離さないこと。電池が損傷している場合は充電しないようにする。
- 使用中に異臭、熱、変色、変形などの異常に気付いたときは、すぐに電池を本体または充電器から取り外し、使用するのをやめること。



注意

さまざまな事故に関わるリスクを軽減するための注意事項です。危険が避けられなかった場合は、軽度や中度のけがを負うだけでなく、物的損害が生じる可能性もあります。

- 充電前に本書をよく読むこと。
- リチウムイオン電池を廃棄する前に完全に放電すること。
- 電池は現地、地域、国の規則に従って必ず廃棄すること。
- 電池は 0℃ ～ 45℃ の温度範囲内でのみ充電すること。

電池の放電中



警告

火災および爆発につながるリスクを軽減するための警告事項です。危険が避けられなかった場合は、重傷を負うあるいは死亡にいたるだけでなく、物的損害が生じる可能性もあります。

- 電池は指定された機器に使用すること。
- 火のそばや（車内や直射日光の強いところなど）60℃を超える高温の場所で電池を放電しないこと。



注意

さまざまな事故に関わるリスクを軽減するための注意事項です。危険が避けられなかった場合は、軽度や中度のけがを負うだけでなく、物的損害が生じる可能性もあります。

- 電池は -20℃ ～ -60℃ の範囲で使用する。

